

待降節第3主日A

「ガウデテ.サンデー」 「Rejoice Sunday」

マタイ11・2-11

今日は待降節第3日曜日です。私たちは待降節を過ごしています。この2週間、私たちは主の到来のために準備することができているでしょうか。

私たちは、待降節第3日曜日を「ガウデテ.サンデー」つまり「喜びの日曜日」と呼んでいます。「ガウデテ」とはラテン語で「喜び」という意味です。メシアであるキリストの到来が近づいているので、私たちは喜びとを迎えているのです。キリストはやって来るのです。彼はすぐそこにいるのです。

待降節リースは3本のろうそくで囲まれています。そのうちの1本はバラ色のろうそくですね。今日、私たちはこのバラ色のろうそくを灯すのは、ローズ.サンデーとも言われるようにガウデテ・日曜日を象徴しているからです。昔は、物の色で何が起きているのかが分かった時代もありました。例えば、紫は王族の色であり、赤は勝利を表しました。古代、軍隊が戦いに勝利したとき、赤い服を着て凱旋したそうです。またバラ色は喜びの色です。私たちは今日、この喜びの色であるバラ色を待降節リースに使って、喜びと歓喜を表現しています。

バラ色は喜びの色ですから、私たちの生活に真の喜びをもたらす方法をお伝えしようと思います。今日、私は喜びを意味するJ.O.Yという英語の言葉を綴りたいと思います。それぞれの文字が何を表しているのか、一緒に見ていきましょう。

最初の文字は「J」です。「J」は「Jesus イエス」を表します。というのは、喜びの生活を送るためには、イエス様が私たちの生活の中で、いつも一番中心になるべきだからです。イエス様は、わたしたちの人生において最も重要な人でなければなりません。彼は私たちの人生の導き手であるからです。

2番目の文字は「O」です。「O」は「Other, 他者」を表します。私たちは、常に他人を自分の人生の2番目に大切な人として考えなければなりません。私たちは他人のために、特に助けを必要としている人のために自分にとっての大切なものを捧げなければなりません。

3番目の文字目は「Y」です。「Y」は「You、あなた、つまり私自身」を表します。私たちは常に自分自身が重要なのですが、自分を最後に重要な人と考えなければなりません。

英語のJ.O.Y喜びは、私たちの人生においてどのように喜びのある人生を送れるかを教えてくれます。喜びのある人生を送るための方法とは、神様を一番とし、他の人は二番、私は三番とすることである、と思い起こさせてくれます。

ですから、私たちの人生に真の喜び『JOY』をもたらすためには、常にイエスが一番、他人が二番、自分が最後と考えるべきなのです。

今日の福音書の中で、イエスは洗礼者ヨハネを賞賛しました。イエスは「洗礼者ヨハネより偉大な人はいない」（マタイ11.11）と述べています。

なぜイエスは洗礼者ヨハネをほめたたえているのでしょうか、一緒に考えてみましょう。

まず、聖ヨハネは紛れもなく、力強く神を語り多くの人々に影響を与える存在でした。だからこそ、イエスは今日の福音で、こう言いました。

「はっきり言っておく。およそ女から生まれた者のうち、洗礼者ヨハネより偉大な者は現れなかった。」（マタイ11.11）。洗礼者ヨハネは、預言者以上の者である、つまりキリストのために道を準備し、キリストの到来を待ち望んでいた、ということ私たちに教えてくださっています。ヨハネは自分より、キリストの到来を重要なこととしてキリストの到来を待ち望み、活動したのです。

第二に、イエスはヨハネの謙遜さを賞賛しています。ヨハネは決して自分を重大視しません。常に自分の後に来られる人を優先していました。マルコによる福音書は、「わたしよりも優れた方が、後から来られる。わたしは、かがんでその方の履物のひもを解く値打ちもない。」（マルコ1.7）と語っています。洗礼者ヨハネは、別のところでこう言いました。「あの方は栄え、わたしは衰えねばならない」。つまり、彼は常にイエスを自分の人生より優先して考え、イエスを第一に置いていたのです。

今日私たちはヨハネの生き方を見て、日常生活の中で神様を一番にすることが本当の喜びとなることを知ります。

待降節に、私たちの人生を振り返ることができるように祈りましょう。そして、私たちの人生において神を第一に置くことができるように祈りましょう。また、洗礼者ヨハネの生涯を見ることによって、私たちが自分、自分いつも自分を重視する生き方から少しでも自由になれるように祈りましょう。

Lazun naw san Vincent(pime)